

平成 26 年 11 月 13 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 26 年 11 月 13 日 (水曜日)

午後 1 時 40 分から午後 3 時 20 分まで

2 場 所 教育委員会 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和
委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長	佐藤 伸吉	子育て支援部長	若月 和浩
教育総務課長	武樋 正隆	教育施設課長	中村 仁
学務課長	田村 均	学校教育課長	竹内 正浩
子ども家庭課長	波多 文子	保育課長	栗林 洋子
中央公民館長補佐	山田 宏	中央図書館長	金垣 孝二
科学博物館長	小熊 博史	学校教育課主幹兼管理指導主事	笠原 徹
学校教育課主幹兼管理指導主事	山之内方史	学校教育課主幹兼管理指導主事	宮 宏之

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	茂田井裕子	教育総務課庶務係長	水内 智憲
教育総務課庶務係	清水 晶子		

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 47 号	条例改正の申出について（長岡市立学校使用条例の一部改正）
3	第 48 号	条例改正の申出について（長岡市立特別支援学校条例の一部改正）
4	第 49 号	条例制定の申出について（長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例）
5	第 50 号	補正予算の要求について

7 会議の経過

（大橋委員長） これより教育委員会 11 月定例会を開会する。

日程第 1 会議録署名委員について

（大橋委員長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び青柳委員を指名する。

日程第 2 議案第 47 号 条例改正の申出について（長岡市立学校使用条例の一部改正）

（大橋委員長） 日程第 2 議案第 47 号 条例改正の申出について（長岡市立学校使用条例の一部改正）を議題とする。事務局の説明を求める。

（中村教育施設課長） 西谷小学校、川口中学校及び栖吉中学校の 3 校についての条例改正を行うものである。西谷小学校は平成 27 年 4 月 1 日付けで栃尾南小学校に統合されるため、運動場使用料の表から削除するものである。川口中学校武道場の新築に伴い、屋外運動場の面積が減少することから、屋外運動場使用料を 1,900 円から 1,800 円に改めるものである。栖吉中学校武道場が平成 27 年 3 月 31 日に完成することから、使用料を定め武道場使用料の表に加えるものである。施行期日はいずれも平成 27 年 4 月 1 日である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第3 議案第48号 条例改正の申出について(長岡市立特別支援学校条例の一部改正)

(大橋委員長) 日程第3 議案第48号 条例改正の申出について(長岡市立特別支援学校条例の一部改正) を議題とする。事務局の説明を求める。

(田村学務課長) 総合支援学校の高等部を新たに特別支援学校として設置することに伴う条例の一部改正を12月議会に申し出るものである。改正理由は、総合支援学校高等部の生徒数の急増と、小・中学部の児童生徒の重度化・重複化・多様化する障害への支援ニーズの充実を図るため、同校の小・中学部と高等部を分離し、高等部を新たに特別支援学校として設置するものである。改正内容は、特別支援学校の名称を長岡市立高等総合支援学校とし、その位置を定めるものである。施行期日は、平成27年4月1日である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第4 議案第49号 条例制定の申出について(長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例)

(大橋委員長) 日程第4 議案第49号 条例制定の申出について(長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例) を議題とする。事務局の説明を求める。

(波多子ども家庭課長) 条例制定の趣旨は、学校・コミセン等に併設されている児童クラブについての運営基準を定めるというものである。これまでは国の示すガイドラインを基準としていたが、平成24年8月の子ども・子育て関連3法の成立に伴い、各市町村で条例を定めることが義務づけられたものである。条例の主な内容は資料に記載のとおりで、国から示された基準を踏まえたものとなっている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) これまでと大きく変わる内容はあるか。

(波多子ども家庭課長) 職員について、「放課後児童指導員は新潟県知事が行う研修を修了したものでなければならない」とあり、法律の施行後は保育士等の有資格者もさらに研修を受けることが義務づけられた。これは、質の向上を重視してのことである。また支援の単位が定められ、概ね40人を1クラスとし、単位ごとに指導員をつけることとなる。長岡市では既にこれ以上の職員を配置しているので、特に問題はない。

(青柳委員) 放課後児童支援員とは児童厚生員のことなのか。

(波多子ども家庭課長) 長岡市においては児童厚生員が児童クラブの指導員を行っているが、他市町村では必ずしもそうではなく放課後児童支援員と児童厚生員が別のところもある。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

(中村委員) 施行期日はいつか。

(波多子ども家庭課長) 子ども・子育て支援法及びその整備法は、消費税増税を担保としているので施行日は未定である。現時点では平成27年4月1日を予定しており、それに向けて準備を進めているが、不透明な状況である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議はないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

日程第5 議案第50号 補正予算の要求について

(大橋委員長) 日程第5 議案第50号 補正予算の要求について を議題とする。

これについては公表前であるので、秘密会が適当ではないか。他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会とする。

————— 会議規則第43条の規定により記録中止 —————

(大橋委員長) 本日の議案の審議は終了する。次に協議報告事項に入る。協議事項の平成27年度新規事業については公表前であるので、秘密会が適当ではないか。他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) では、秘密会とする。

————— 会議規則第43条の規定により記録中止 —————

(大橋委員長) 次に催し案内に入る。

(小熊科学博物館長) ミヨウシーを描こうジュニア絵画展とその関連行事であるワークショップ及び講演会についてである。これは、科学博物館移転リニューアル記念とした今年度最後のイベントである。子どもたちから博物館に親しんでもらおうとミヨウシーにちなんだ作品を10月17日から11月10日まで募集したところ、200点以上の応募があった。その内の4分の3以上が、保育園・幼稚園からの応募であった。11月15日に審査を行い、16日に審査員特別賞と入選作品について発表し、12月7日に表彰式を行う予定である。優秀作品については、11月29日から12月23日まで科学博物館企画展示室で展示を行い、その後平成27年1月31日から3

月1日まで栃尾美術館市民ギャラリーにて全作品を展示する予定である。関連行事として11月16日に、午前中は恐竜の復原画制作や恐竜の生体復元体験のワークショップを行い、午後は札幌市博物館活動センターの古沢仁さんを招いて「ミョウシーはどこから来て、どこへいったのか…」をテーマにした講演と、ミョウシーの原型モデルを作成していただいた古生物造形作家の徳川広和さんから「ミョウシーの姿を復活させよう」をテーマにご講演いただく予定である。博物館のシンボルとなったミョウシーを楽しく学べるので、機会があればご来場いただきたい。

(大橋委員長) 他に報告事項はあるか。

(金垣中央図書館長) 例年行事であるクリスマスコンサートを12月6日に開催するものである。二部構成となっており、第一部は子どものためのもので第二部は一般向けとなっている。もう一つは、今年度新たな取り組みとして、図書館の資料を用いて初心者向けに昔の字を読む「くずし字を読んでみよう」という講座を開くものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に報告事項はあるか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に下塩小学校、上塩小学校を訪問した。各校の取り組みや課題について、委員の皆さんと意見交換したい。

(大橋委員長) 上塩小は昨日、親善音楽会の午前の部に参加されていた。全校児童で合唱隊を組み、小学校の音楽教師であった人が伴奏者として応援に駆け付けてくれたこともあって実に良い演奏であった。この音楽活動を核にしながら、地域のお寺を会場に上塩祭りとしてコンサートをするなど、地域と一体となった取り組みを行っている。そのほか、3年生を中心に新品種のチョウセンアカシジミが寄りつく植物を学校に植えようとしている。区長さんも自然を相手に活動をしている。また食生活改善推進員はおかめかぼちゃの指導者である。習字の先生もいらっしゃる。教職員よりもはるかに地域の人材が多く、今回も教育委員会との懇談会に6人参加

しており、皆、子どもたちを応援している。400世帯以上の住民がいるが、若手が見附市や栃尾地域の中心地へ出てしまう。学校の子どもがいるのは28世帯と非常に少ない。複式学級の総合学習は実に良い授業をしていた。3・4年生はA年度・B年度に分かれてやっていた。特色ある教育を、地域の人材を生かして、学校のカリキュラムを大胆に転換して行ってはどうかと提案した。例えば、音楽の授業では1年生も5年生も同じように発声できるし、簡単な曲、難しい曲はないので一緒に授業をやる、あるいは図工であれば単元を組み替えるなどの大胆な発想を徐々に取り入れてはどうかと思う。地域と連携しながら学校教育はどうあるべきかを考え、地域の人材を活かせるように学校のカリキュラムを変えるという大胆な発想が必要である。長岡地域の太田小・中学校では太田学を取り入れていると聞いた。同じように上塩学を取り入れてもいいのではないかと。文科省の指導要領は逸脱できないが、小規模校なりのカリキュラムの発想で指導することも必要と思われる。

(中村委員) 上塩小は、学校と地域の協力体制がうまくいっている。とてもいい活動をしているが、自分たちの後を担う若手の後継者がいないことが心配であると地域の方はおっしゃっていた。学校の校舎は新しくきれいで、校舎内も整理整頓されていた。子どもたちも明るく素直で元気いっぱい活動していた。総合学習に取り組んでいた3・4年生ではどの子が3年生でどの子が4年生か分からないほど、授業にしっかり取り組んでおり、思ったことを自分の言葉で発表できていたのが印象的であった。4年生がさりげなく3年生のことをうまくリードする姿が見られ、これが少人数制の良さなのかなと思った。先生方の年代が20代から50代までおられて、年代バランスと経験のバランスがよかった。

(青柳委員) 下塩小学校では地域の方として畑の先生がいた。子どもが野菜づくりを通して、手をかけたのに育たないのは悲しい、大きくなって嬉しいなどの食育体験をされていたのがいいなと思った。全校77名の小規模校ではあるが、小・中学校のサポートチームの連携が取れていると聞き素晴らしいと思った。またその中には高校も入ってきているのは珍しいと思った。連携の特色としては6年生の春休みの課題を中学校に提出するというものである。また、メディアコントロール週間をPTAも一緒に小・中連携して取り入れており、家庭の協力を得てメディアに触れない時間を設ける取り組みをしている。校長が危惧していたのは、「狭い集落なの

でもっと広い世界を体験させたい。長岡にとどまらず世界に出て行ってほしいが、ここでいいやと思っている人が多いようである。田植えや稲刈りなどでも、昔のやり方を残してほしいと思っているが継承が難しくなっている」といったことであつた。

(羽賀委員) 下塩小は、6年生では17名中、女子が14名、男子が3名と偏りがみられ、小規模校の良い面とそうでない面が顕著であつた。授業を見ていると子どもたちは言語化に課題があると感じた。先生方が一生懸命で、学校だよりの丁寧さや掲示物にもあらわれていたが、子どもの意欲がもう少しあると良かった。一番大きなテーマは、狭い世界に安住してしまうことである。地域との連携はとてもよく取れており、まちの先生27人をうまく活用している。今後は熱中！感動！夢づくり教育の事業をもっと活用するようアドバイスした。PTA会長さんが栃尾の油揚げ店を経営しており、学校用に移動式の揚げる器具を作り、子どもたちに体験させている。栃尾の油揚げは全国区のものなので、地域の良さを誇りにできるのではないか。都会にないものをたくさん持っており、地方にしかないものを際立たせることで、都会における教育との差別化が図れると思う。

(宮学校教育課主幹兼管理指導主事) 下塩小学校では、ロボコンに今年初挑戦した。3人取り組んだうちの1人が、コンテストに出場することができた。教育長からは、カリキュラムを変えて全校で取り組んではどうかとの提案もあつた。

(大橋委員長) ぜひとも、小規模校の利点を生かした取り組みをしていただきたいと思う。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員